

# 新型コロナウイルス感染症に対する対応

2021. 9. 25 理事会

10月1日から全国で緊急事態宣言は解除されます。三重県の感染者数も減少が続いており、国の基準のステージ2に移行するまでになってきており、今の状況に合わせた活動をすすめていきます。しかし、新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではありません。これから冬場になり第6波も起こることは十分予想されますので、引き続き「感染しない」「感染を広げない」ことを重視し、感染対策を習慣化していきましょう。

活動を再開するうえでは、再度感染対策についての確認を行い、再開しやすいものから始めていきましょう。

(1) 日常的に感染対策を習慣化しましょう。

- ①毎日、健康チェックをしましょう（体温測定、咳やのどの痛みなどの風邪症状がないか、味覚や嗅覚異常がないか）
- ②マスクの着用をしましょう、鼻を出したりしないように
- ③手指消毒をこまめに行いましょう
- ④3密（密室・密閉・密集）を避けましょう

(2) 班会について

班会再開にあたってはこれまでのように感染対策を確実行い、少人数（屋外なら10人程度、屋内では部屋の広さにもよりますが、3人から10人程度まで）で実施しましょう。

- ①班会を行う場合は事前に参加者、実施場所を報告するようにします
  - ②班会に参加する上での参加者のチェック項目を確認します
    - ・咳、倦怠感（だるさ）、息苦しさ、のどの痛み等の症状がない
    - ・この1週間で発熱がない。家族にも発熱者がいない
    - ・この2週間、本人又は家族が県外者との密な接触（マスクを外しての接触等）がない
    - ・この2週間リスクの高い場所に行っていない
  - ③開始時には体温チェック、手指消毒を行います
  - ④屋外での班会をすすめていきましょう。ラジオ体操やウォーキング班会をすすめて、この間の運動不足を解消していきましょう。近づかずに距離を保って、少人数ごとに行います
  - ⑤室内での班会については、まん延防止等重点措置も出ていない状況であれば広い部屋で、少人数で間隔を空けて行いましょう。重点措置が出ている間は感染が広がる危険性もあるので、もうしばらく見合わせましょう
  - ⑥熱中症には注意してこまめに水分を補給しましょう
- ★食事はマスクを外す時間が長くなり感染リスクは高まりますので当面休止してください
- ★歌を歌う班会は感染リスクが高まりますので当面休止してください

(3) ボランティアの送迎について

ボランティアの送迎については10月から再開していきます

- ①ボランティア・患者双方ともマスクを着用します
- ②運転手は送迎開始時に体温測定をします
- ③患者の乗車前に体温を測定します
- ④乗車時には手指消毒を行います
- ⑤車のエアコンは外気取入れで行います
- ⑥会話は最小限にします

#### (4) いきいきくらしの会やフードパントリー

いきいきくらしの会やフードパントリーの活動も以下の感染対策を徹底し、通常の活動に戻していきます。

- ①マスクを着用します
- ②定期的に手指消毒を行います
- ③開始時の体温の確認をします
- ④外であっても密にならないようにして距離を取ります
- ⑤対話時間は短時間（5分～10分程度）にします

#### (5) 訪問行動

- ①事前に連絡を入れられるところは連絡してから訪問を行きましょう。
- ②訪問者は必ずマスク着用をします
- ③対話は玄関で、正面を避け、横に立つなどしましょう
- ④対話時間は短時間（5分～10分程度）にしましょう
- ⑤手指消毒用アルコールを携帯し、こまめに使用しましょう

#### (6) 機関会議（地域委員会、支部運営会議）

機関会議もWEBを活用して集まらなくてもできるようにしていきましょう。

- ①隣との間隔が十分にとれる広い部屋で行います
- ②マスクを着用します
- ③開始時に体温を確認します
- ④入室前後に手指消毒を行います
- ⑤隣との間隔は1メートル以上開けます
- ⑥できるだけ飛散パネルを設置して隣に飛散しないようにします
- ⑦換気を行う
- ⑧できるだけ短時間でおこなうようにして飲み物やお菓子はださないことを徹底してください。